

マロニエ文化学びのひろば 考古学セミナー
～とちぎ県民カレッジ連携講座～

発掘調査から わかった物資の 流通

現代に生きる私たちは生活に必要な物資のすべてを、身の回りだけで手に入れることはできません。昔の人々はどうだったのでしょうか。遺跡を発掘調査すると、遠い地方で産出する素材を用いた製品や遠い地方で作られた製品などが、しばしば発見されます。このような物資(遠隔地物資)を調べていくと、物資が伝わったルートが判り、更には、交換をした集団どうしの関係から社会の仕組みの解釈にまで踏み込むことができます。

本年度は、縄文時代、古墳時代、古代、中世の各時代に分けて、栃木県内遺跡の例を中心に、出土した製品を通して物資の流通の問題を埋蔵文化財センター職員がわかりやすく解説します。

菅田古墳群出土 円筒埴輪

プログラム

第1回 11月17日⑨「縄文時代における遠い地方の物資の入手」

ー栃木県内遺跡から出土する翡翠・琥珀・アスファルトー

第1会議室

とちぎ未来づくり財団埋蔵文化財センター
普及資料課副主幹兼課長 塚本 師也

第2回 12月22日⑨「関東地方における埴輪の動き」

ーどこで作られ、どこで使われたかー

第1会議室

とちぎ未来づくり財団埋蔵文化財センター
整理課副主幹 進藤 敏雄

第3回 1月26日⑨「古代の流通」

とちぎ未来づくり財団埋蔵文化財センター
調査課副主幹 津野 仁

第1会議室

第4回 2月24日⑨「中世の流通」ー銭と石銅を中心にー

とちぎ未来づくり財団埋蔵文化財センター
整理課副主幹兼課長 田代 隆

第1会議室

会場 栃木県総合文化センター

開催時間 13:30～15:30

受講回数 セミナーは全4回ですが、1回のみ
の受講でも受け付けます。

募集定員 各回100名程度(定員になり次第締め切り)

受講料 無料



上芝遺跡出土 古銭



浄法寺遺跡出土 大珠

※応募方法については裏面をご覧ください。

主催 (財)とちぎ未来づくり財団

お問合せ

(財)とちぎ未来づくり財団 総務企画課
☎028-643-1011 (平日9:00～17:00)

**平成24年度生涯学習セミナー「マロニエ文化学びのひろば」
考古学セミナー「発掘調査からわかった物資の流通」 アンケート結果より
第1～4回 受講者数 129名 回答者数 64名 回答率 49.6%**

(Q1)お住まい

宇都宮市内	26名	40.6%
宇都宮市外	36名	56.3%
県外	1名	1.6%
回答なし	1名	1.6%

(Q2)応募した動機についてお答えください。(複数回答可)

趣味・教養のため	58名	90.6%
職業に生かすため	5名	7.8%
地域活動やボランティア活動に生かすため	7名	10.9%
自ら取り組む学習対象を探すため	7名	10.9%
余暇の活用のため	17名	26.6%
その他	1名	1.6%
回答なし		

(Q3)1講座あたりの回数(回)についてお答えください。

適当だった	57名	89.1%
多かった	1名	1.6%
少なかった	2名	3.1%
回答なし	4名	6.2%

(Q4)講座全体を通しての満足度についてお答えください。

満足できた	31名	48.4%
概ね満足できた	27名	42.2%
あまり満足できなかった	2名	3.1%
満足できなかった		
わからない	1名	1.6%
回答なし	3名	4.6%

〈御意見〉

- ・大変勉強になりました。縄文時代も更に好きになりました。ありがとうございました。又来年も宜しくです。
- ・栃木県に関した昔の事は何でも気になります。外県より住みついたのでどんな事でも良いです。
- ・歴史は奥深くすぐ色々知りたいですね。出来る限り参加する様心がけますのでどうぞよろしく。
- ・スクリーンの位置が高すぎて、後ろに重点を置き過ぎているように感じました。
前の方に着席する人は熱心な傾向にあるので、前重点が良いと感じます。
- ・プロジェクターの置き台が大きすぎて、2、3列目中央の利用がし難いようでした。
小さな台にして、受講者にやさしいレイアウトを考えて頂ければと思います。
- ・全体的に講師の声が小さく極めて聞きづらかった。中ほどで聞いても解りづらかったので、最後尾の人々は！！
- ・風土記の丘のセミナーと日時が重なっている時があるので調整して頂きたい。両方出席したいので。(同様の意見3件)
- ・月一回のペースではなく、2回位に、又年1回～2回ではなく、もう少し講義の回を増やしてほしい。
- ・過去、足利学校と寺野東遺跡など現地説明会がありました。できましたら現地説明会などお願いしたいところです。
：埋文で現地調査したところです。
- ・現地、現場でのセミナーを開いて欲しい。

〈考古学セミナーで実施して欲しいテーマ〉

- ・埴輪の流通により古墳時代の一つの姿がわかった
- ・ハケ目による埴輪の研究の進展が楽しみ
- ・食(採集、農耕など)、森林利用
- ・栃木県、近県における横穴式石室の変遷、特徴
- ・下野の国と蝦夷との関わり。下野はどのような立場だったのか。どのような交流があったか。
- ・発掘からみられた古墳と集落形式、経済活動など考察される中味をききたい。深めたものをききたい。

- ・中央の記録ととちぎの考古学(六国史に書かれた下野)
- ・奈良の影響が下野に届いている発掘の結果
- ・弥生時代～古墳時代について
- ・旧石器時代の下野or鯨の化石が出た時代の地球規模の状況
- ・栃木、北関東地方の縄文時代の始めと終り、弥生時代の始まりを出土土器、遺物からどの様に判断できるか知りたい。
- ・今回の中世の様に、近世なども取り上げて欲しい。(縄文もおもしろいです)ー欲張りですみません。
- ・現代につながっている縄文の技術、生活様式⇒家屋、土器、埋葬等
- ・中世遺跡の発掘調査状況や報告
- ・黒曜石の流通について。県内の銀山遺跡について。
- ・中国、朝鮮の古代・中世の文化史をお願いしたい。